

## 村崎 太郎 (特別賞)

昭和三十六年山口県生まれ

猿まわし



十八歳で猿・次郎の調教を開始。周防猿ましの会初代会長だった亡父、村崎義正とともに、幻の伝統芸能といわれ、長く途絶えていた猿まわしの復活に大きな役割を果たす。

猿まわしは、エジプトが発祥の地で、千年の歴史を有するといわれるが、昔ながらの古典芸を継承するとともに、時代に即したテンポの良いコンビ芸に発展させ、お茶の間の人気を博す。

昭和五十四年からは全国を公演。五十五年から東京に進出し、五十六年国立劇場に出演。テレビCMの「反省ポーズ」で全国的な人気者になる。

平成元年四月、十年間コンビを組んできた先代の次郎が急死。廃業を考えるほどのショックを受けるが、「その死を無駄にしないためにも」と、二代目の調教を始める。

その後、紀伊國屋ホール、シアターアプル、武蔵野芸能劇場等の舞台公演を重ね、平成三年度の文化庁主催「芸術祭」に初参加、「猿まわし五人衆」(周防猿まわしの会主催)の作・演出で、芸術祭賞を受賞する。動物芸の参加、受賞とも初めてのことで、大道だけの芸能だった猿まわしを、舞台芝居にまで発展させた功績は大きい。

本年もアメリカ公演やサンシャイン劇場公演を予定しており、幅広い活動が期待される。